

愛媛大学図書館 事例報告

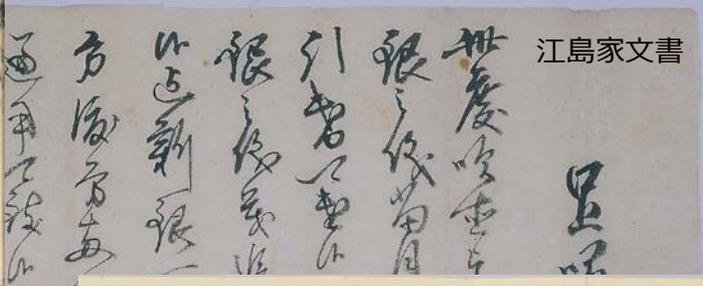
貴重資料のデジタル化と公開

愛媛大学図書館 上山 朋子

貴重資料のデジタル化と公開

～「愛媛大学鈴鹿文庫」と「米山日記」を中心に～

1. 愛媛大学図書館所蔵の貴重資料
2. 「愛媛大学鈴鹿文庫」と「米山日記」
3. 「愛媛大学鈴鹿文庫」デジタル化・公開等の経緯
4. 「米山日記」デジタル化・公開等の経緯
5. 今後の課題



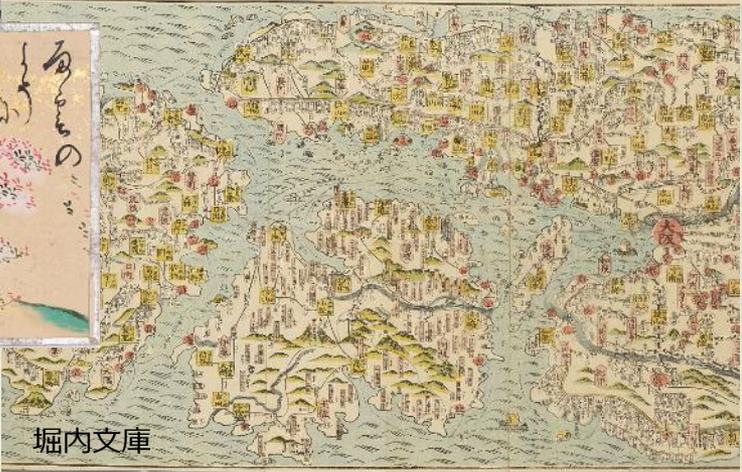
張引智山伝巻



河野昌苑文庫



鈴鹿文庫



堀内文庫

1. 愛媛大学図書館所蔵の貴重資料

1.愛媛大学図書館所蔵の貴重資料

※一部 寄託資料を含む

貴重資料に指定したものの、貴重資料に準ずるものを掲載。

※館内での所蔵場所は「貴重資料室」

◆資料群ごとに可能なものから少しずつデジタル化

◆統一的な形式・プラットフォームにはなっていない

<https://opac.lib.ehime-u.ac.jp/FIND/rare-book>

- 秋山家文書
- 伊豫国大洲藩長浜町町会所記録
- 江島家文書
- 加藤家文書
- 近世絵画
- 河野晶苑文庫
- 西條誌稿本
- 櫻田家文書
- 鈴鹿文庫
- 世紀堂文庫
- 多田満中絵巻
- 遠田家文書
- 永野文庫
- 俳家先哲墨蹟鑑
- 米山日記
- ヘーゲルコレクション
- 堀内文庫・堀内家文書

下線は何らかの形(電子含)
で複製しているもの
赤字はWebページで公開
しているもの(一部のみ含)

1. 愛媛大学図書館所蔵の貴重資料

<https://opac.lib.ehime-u.ac.jp/FIND/rare-book>
平成12(2000)年度から貴重資料デジタル化の検討を開始

※図書館委員会の下に「デジタルコンテンツ研究会」を設置

- ◆資料劣化への対応
- ◆学術研究資料として広く国内外研究者が利用可能に
- ◆地域住民への生涯学習・学校教育への教材提供

デジタル化及び閲覧入力等で情報が拡散することにより、一般の方にも利用が広がり、用途によっては画像のみで利用が完結するため、原本の損傷予防にもつながる

初期のデジタル化資料

西条誌稿本

<https://opac1.lib.ehime-u.ac.jp/saijo/>
西条市から受託研究費(¥500,000)
※西条市制60周年記念事業
平成13(2001)年10月CD-ROM完成
同内容をWebページでも公開

江島家文書

<https://opac1.lib.ehime-u.ac.jp/EJIMA/>
今治市から受託研究費(¥500,000)
平成15(2001)年1月CD-ROM完成
同内容をWebページでも公開

2. 「愛媛大学鈴鹿文庫」と「米山日記」

愛媛大学鈴鹿文庫

※鈴鹿三七 (すずか・さんしち 書誌学者:元 皇學館大学教授)氏の旧蔵書

- ◆鈴鹿家=中世以降の京都の神道家 歴代にわたり書物を収集
- ◆一門の旧蔵書は他の図書館等でも所蔵(大和文華館・京都大学・明治大学博物館 等)
- ◆神道関係資料中心 物語・随筆・日記類を含む
書写本・板本・複製本・活字本・軸物・箱物等 7,432点

紹介記事:「図書館雑誌」2023年6月号「ウチの図書館お宝紹介！」第232回

米山日記

※書家・三輪田米山(みわだ・べいざん 名:常貞or清門/幼名:秀雄)の直筆日記

- ◆伊予国久米郡(現・愛媛県松山市)日尾八幡神社(ひおはちまんじんじゃ)の神官
- ◆嘉永元年(1848)から明治34年(1901)までの53年間を記録
- ◆約300冊のうち、直筆原本207冊を愛媛大学図書館で所蔵

紹介記事:「図書館雑誌」2011年3月号「ウチの図書館お宝紹介！」第105回

3.「愛媛大学鈴鹿文庫」 デジタル化・公開等の経緯

昭和52(1977)年3月から53(1978)年2月にかけて受入

※購入(約600万円) 一部は寄贈 その他、軸物、箱物等も受入

※S52.12-S53.7の日付の国文学研究資料館調査カードの記録あり

デジタル化(撮影・Webページ開設等の経緯)

平成15(2003)年度に撮影開始(国文学研究資料館との連携事業)

※日本近世文学専門の本学教員(H12国文研 客員教員)の調整により実現

以降、毎年数十点を館内で撮影(外注)しデジタル化、順次公開(内製)

平成24(2012)年度-遡及入力=NII「総合目録データベース遡及入力事業」

令和2～3(2020-21)年度 - 国文学研究資料館へ資料を送付して撮影

※予定していた全資料の撮影完了(約900点)

令和4(2022)年度 - 最終撮影分画像の公開

3.「愛媛大学鈴鹿文庫」 デジタル化・公開等の経緯

展示・講演会等(学内開催分のみ)

平成18(2006)年11月

・愛媛大学図書館「鈴鹿文庫」の貴重書 (図書館3Fラウンジ)

11/12：講演会「鈴鹿文庫の貴重書-900年の書物が語るもの-」

※宗鏡録・中阿含経を主として取り上げた内容

平成28(2016)年10月～11月(中世文学会秋季大会開催記念展示)

・「愛媛大学鈴鹿文庫本」展観 (愛媛大学ミュージアム)

平成30(2018)年10月～11月

・愛媛大学図書館 鈴鹿文庫貴重書展 (愛媛大学ミュージアム)

令和5(2023)年2月22日 愛媛大学図書館学術講演会

「愛媛大学鈴鹿文庫の魅力」 (愛媛大学図書館/オンライン)

その他、学外展示等への資料貸出・図書及び雑誌への引用等 多数

4. 「米山日記」デジタル化・公開等の経緯

予算の獲得・撮影・Webページ開設

原本のうち、202冊は昭和41(1966)年度に購入(¥400,000)
※後日、平成27(2015)年3月に2冊、平成30(2018)年1月に3冊を寄贈受入
その他、日記以外の作品(軸物、屏風等)も所蔵

◆平成20(2008)年度 - ¥3,253,000(学長裁量経費による予算措置)
所蔵日記202冊の撮影・データ化・Webページ制作(公開は翌年度)・レプリカ製作

六曲一双屏風 購入

◆平成22(2010)年度 - ¥4,000,000(学長による予算措置)

以降の経費は図書館予算から捻出

◆平成21(2009)年度 - ¥19,740(手習い帳) ¥499,000(県立図 所蔵分)

◆平成23(2011)年度 - ¥463,680(伊予史談会 所蔵分)

◆平成24(2012)年度 - ¥371,910(伊予史談会 所蔵分)

◆平成25(2013)年度 - ¥77,760(新規寄贈2冊・伊予史談会 所蔵分)

◆平成26(2014)年度 - ¥49,248 (伊予史談会 所蔵分)

◆令和元(2019)年度 - ¥70,416 (新規寄贈3冊)



三輪田米山
六曲一双屏風

4. 「米山日記」デジタル化・公開等の経緯

展示会等の開催

展示・講演会等(学内開催のみ)

平成20(2008)年12月

「米山没後百年展-米山日記の世界-」(会場:図書館2F)

12/7:記念講演・シンポジウム(教育学部大講義室)

平成22年以降毎年 愛媛大学ミュージアムで開催 ※平成22～25年度は会期中に記念講演等も開催

H22 三輪田米山の書	H25 二行書 氣韻生動	H28 米山と蘇山Ⅱ
H23 米山 仮名の美	H26 三輪田米山名品展	H29 米山 多様な美の形
H24 少字数書の造形	H27 米山と蘇山Ⅰ	H30 三輪田米山展-屏風作品を中心に-

令和3(2021)年度

「米山生誕二百年展」

第一期『米山日記』と漢字の書 第二期『米山日記』と仮名の書

第三期『米山日記』と少字数の書

会場:愛媛大学ミュージアム 動画で展示を公開 <YouTube:愛媛大学ミュージアムchannel>

※図書館所蔵の米山日記 原本を3期に分けて全冊展示したが、コロナ禍のため非公開となった。

4. 「米山日記」デジタル化・公開等の経緯

レプリカの製作

レプリカ製作(禁帯出だが開架に配置 手に取って読むことができる)

- H20(2008): 3冊(¥346,500)
 - H21(2009): 12冊(¥855,225)
 - H22(2010): 12冊(¥469,245)
 - H23(2011): 14冊(¥466,725)
 - H24(2012): 17冊(¥498,750)
 - H25(2013): 15冊(¥498,750)
 - H26(2014): 8冊(¥340,416)
 - H27(2015): 13冊(¥532,008)
 - H28(2016): 12冊(¥481,896)
 - H29(2017): 12冊(¥488,700)
 - H30(2018): 12冊(¥493,992)
 - R 1(2019): 8冊(¥456,500)
 - R 2(2020): 7冊(¥437,800)
 - R 3(2021): 7冊(¥469,700)
- 累計 152冊 (¥6,836,207)

※令和4~5(2022-23)は電気料金高騰により製作を断念

5. 今後の課題

- ◆ 統一的なプラットフォームにはなっていない
- ◆ IIIF(トリプルアイエフ)等には対応できていない
- ◆ 撮影時期によって画像の精細度がまちまち
- ◆ 貴重資料室の狭隘化
- ◆ 燻蒸費用の値上がり
- ◆ 長期にわたる撮影期間を通しての情報共有
- ◆ 研究者との継続的連携・協力体制の維持

ご清聴 ありがとうございました。

貴重資料のデジタル化と公開

～「愛媛大学鈴鹿文庫」と「米山日記」を中心に～
第64回中国四国地区大学図書館研究集会 事例報告(愛媛大学図書館)